

事業所名

放課後等デイサービスぐろーあつが崎

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年

2 月

17 日

法人（事業所）理念		わたしたちは、高い専門性と思いやりの心を持って利用者にサービスを提供することにより、会社・社員共々地域に貢献します。		
支援方針		18歳、20歳になっても困らない生活スキルとコミュニケーション、それらを自分らしく学ぶ場所。		
営業時間		月～土・祝日、9：00～17：00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	1. 来所後、手洗いうがい・検温の実施。自発的にできるように声掛けをし、子どもたちが行う様子を見守ります。 2. 検温を記録し、支援員は子どもたちの健康状態を把握します。 3. 学習できる部屋を設け、パーテーションで区切りを付け、集中して学習へ取り組めるようにしています。また、不登校防止の為、学校課題（宿題等）の取り組みも行っています。		
	運動・感覚	1. 療育の中で、微細運動や粗大運動を行い、手先を器用に動かす事や運動能力向上等を目的に取り組んでいます。 2. 週に1回、理学療法士による支援計画を元に、子どもたちへ専門的療育を実施しています。 3. 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活動できるように、実験遊びや調理体験を活動の中で取り組んでいます。		
	認知・行動	1. 1日の流れをスケジュール表を用いて、子どもたちと一緒に確認し子どもたちが見通しを持って行動できるようにします。 2. 各児童、毎日個別に療育スキルを実施し、苦手分野の克服や日常生活に必要なスキルを身に付けます。 3. 男女の対人距離感の認識ができるように、場面に応じたロールプレイングを行っています。		
	言語 コミュニケーション	1. 来所時や降所時に児童同士、大人と挨拶を交わり円滑なコミュニケーションを図ります（挨拶を示す絵カードを入口に掲示し、子どもたちもカードを見て気づき、自ら挨拶が出来るようにします）。 2. 文字探しや転写、空間認知など、内容の異なる療育プリントを毎日実施し、読む力や書く力、文章の理解力向上に繋げています。		
	人間関係 社会性	1. 自由時間に子どもたちの意思を尊重し、個人の遊びや集団遊びなど、子どもたちが自由に過ごす場所や時間を提供します。 2. 公共の乗り物を利用して外出し、電車やバス等の乗り方や、また、映画館や図書館等の公共施設利用のマナーやルールを身に付けます。また、本番利用までに訓練で疑似体験を事業所内で実施し、流れを身に付けます。		
家族支援		1. 送迎時や自宅訪問した際に、学校やご家庭での様子を共有する時間を設け、情報を共有し、児童の療育活動へ活かします。 2. ご家庭が精神的、身体的、就労に必要な場面に合わせて、家族のレスパイトケア、もしくは、延長支援を提供します。	移行支援	1. 学校や家庭、児童発達支援の様子や支援の取り組みについて情報を共有し、支援の内容や方向性を一致できるように支援します。
地域支援・地域連携		1. 図書館や体育館、動物園などの公共施設を利用し、地域の資源を活用します。また、他事業所の児童との交流する場を設け、事業所同士の連携も図ります。 2. 学校や福祉サービスとの連携も積極的に行い、事業所と地域との支援体制を整えています。	職員の質の向上	1. 支援員の専門性を高めるために、勉強会や研修に参加し、支援員が学べる場を整えています。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとにクリスマス、ハロウィン、節分等の実施。</li> <li>・体育館や図書館、公園遊び等での地域連携。</li> <li>・【食】への関心が持てるように、調理実習の実施。</li> </ul>		

事業所名

児童発達支援ぐるーあつが高崎

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年

2 月

17 日

法人（事業所）理念		わたしたちは、高い専門性と思いやりの心を持って利用者にサービスを提供することにより、会社・社員共々地域に貢献します。	
支援方針		18歳、20歳になっても困らない生活スキルとコミュニケーション、それらを自分らしく学ぶ場所。	
営業時間		月～金・祝日、9：00～17：00	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	1. 来所後、手洗いうがい・検温の実施。自発的にできるように声掛けをし、時には支援員も一緒に取り組んだり絵カードを表示します。 2. 検温を記録し、支援員は子どもたちの健康状態を把握します。 3. 排泄や衣類の着脱、身の回りを清潔にすることなど、掲示物の可視化や時間を意識し切り替えが出来るようにタイマーを用いる時間の構造化を図ります。	
	運動・感覚	1. 療育の中で、微細運動や粗大運動を行い、手先を器用に動かす事や運動能力向上等を目的に取り組んでいます。 2. 週に1回、理学療法士による支援計画を元に、子どもたちへ専門的療育を実施しています。 3. リズム遊びを通し、耳で聞いて身体を動かすために判断力や表現力、集中力、思考力、運動能力の発達・育成を目指します。	
	認知・行動	1. 1日の流れをスケジュール表を用いて、子どもたちと一緒に確認し子どもたちが見通しを持って行動できるようにします。 2. スケジュール表での確認の他、次の活動の絵カードを見せたり、タイマーを使うことで聴覚的、視覚的に理解し行動の切り替えや気持ちの切り替えができるようにします。	
	言語 コミュニケーション	1. 週に1回、言語聴覚士との個別に療育活動を実施し、言語の獲得段階にある児童への言葉の獲得のサポートをします。 2. 活動の中で絵本の読み聞かせや、発表の場を設け、聞く力や話す力を身に付けます。 3. 来所時や降所時に児童同士、大人と挨拶を交わし円滑なコミュニケーションを図ります（挨拶を示す絵カードを入口に掲示し、子どもたちもカードを見て気づき、自ら挨拶が出来るようになります）。	
	人間関係 社会性	1. 自由時間に子どもたちの意思を尊重し、個人の遊びや集団遊びなど、子どもたちが自由に過ごす場所や時間を提供します。 2. 集団活動、個別活動を通して、自己理解や他者理解を養い、集団でのマナーやルールが身につくように支援します。	
家族支援		1. 送迎時や自宅訪問した際に、保育園やご家庭での様子を共有する時間を設け、情報を共有し、児童の療育活動へ活かします。 2. ご家庭が精神的、身体的、就労的に必要な場面に合わせて、家族のレスパイトケア、もしくは、延長支援を提供します。	移行支援 1. 保育園や家庭、児童発達支援の様子や支援の取り組みについて情報を共有し、支援の内容や方向性を一致できるように支援します。
地域支援・地域連携		1. 事業所周辺のお散歩や、公園遊びなど、地域の公共施設を利用し、地域連携を図ります。	職員の質の向上 1. 支援員の専門性を高めるために、勉強会や研修に参加し、支援員が学べる場を整えています。
主な行事等		季節ごとにクリスマス、ハロウィン、節分等の実施。お散歩や公園遊び等での地域連携。	